



中之島だより

令和3年10月号

和歌山市立中之島小学校



充実した学校生活を！

【校長 太田 謙二】

9月1日に2学期がスタートしてから、早くも1か月が経ちました。連日暑い日が続いていましたが、やっと朝晩は涼しくなり、さわやかな秋を感じる季節となりました。

学校では、2日の運動会に向けて、この1か月間子供たちは、ダンス等を中心に練習をがんばってきました。私も学年の練習に入って、一緒にダンスを練習しようとするのですが、アップテンポであったり、動きが複雑だったりしてなかなかうまく踊れません。でも子供たちは、動きを覚え、いきいきとした表情で踊っています。きっと、練習の時間だけではなく、休憩時間や家でも練習しているからだと思います。曲がかかると勝手に体が動き出す。そんな様子で、「中之島小学校の子供たちすごいな。」と感心しています。ぜひ、素晴らしい秋晴れの下、子供たちの素敵な姿を見ていただけたらと願っています。

その他にも、学校では1人1台パソコンを活用して、学習等の在り方を模索しながら様々な取組を進めています。2学期の始業式では、「校長先生の話」を初めてオンラインで行いました。子供たちに向かってではなく、カメラに向かって話をするのが、なかなか難しく……。他にもお家とつないで修学旅行の説明会を行ったり、先日は、研究授業をオンラインで行ったりしました。まずは、教職員の研修を深めていかなくてはいけないと痛感しています。子供たちはというと、機器の操作に驚くほどの速さで慣れ、調べ学習なども自身でどんどん進められるようになってきています。

新型コロナウイルス感染症については、ようやく全国的に感染が減少してきて、和歌山県でも一時の爆発的な感染状況ではなくなっていますが、これからもまだまだ気を許せない状況だと思っています。これまでのように感染症対策をしっかり徹底して、教育活動を進めていきたいと考えています。



10月は、行事等がたくさん予定されています。また、季節的に過ごしやすい時期なので、子供たちには落ち着いて学習に取り組んでいって欲しいと思います。子供たちが充実した学校生活を送ることができるよう、保護者の皆様、地域の皆様、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。